



YAMAHA

MOTIF XSエディター インストールガイド

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をされた場合には下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みください。ご同意いただけない場合は、ダウンロード、インストール、コピー、その他のご使用をおやめください。すでにダウンロードやインストールをしたが、下記条項にご同意いただけないという場合には、速やかに本ソフトウェアを削除してください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル（以下「本ソフトウェア」といいます。）を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- お客様のコンピュータにおいて使用することができます。
- バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的でのみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

(1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
- 本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
- 本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピュータに伝送したり、ネットワークで他のコンピュータと共有することは許されません。
- 本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
- 弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。

(2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。

- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。
- 本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

5. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様がソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション（以下「第三者ソフトウェア」といいます）を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- 弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- 弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- 弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害（データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む）については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

ご注意

- このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- 巻頭にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。
- このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、下記URLをご参照ください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>
- このインストールガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- SteinbergおよびCubaseは、Steinberg Media Technologies GmbH社の登録商標です。
- 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

USB TO HOST端子ご使用時の注意

USB TO HOST端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。

以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、電源を入れ直し、コンピューターを再起動してください。



- USB TO HOST端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、USB TO HOST端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了してください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソングを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
- 本体の電源オフ/オンやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行なってください。

MOTIF XSEディターについて

MOTIF XSEディターは、MOTIF XS6/7/8のボイスまたはマルチ音源(ソング/パターンモード)の設定を、コンピューター画面を使って視覚的に確認しながら編集することができるソフトウェアです。

MOTIF XS6/7/8本体のパラメーターをコンピューターからリモートで編集したり、MOTIF XS6/7/8内のデータをコンピューターに保存したりできます。

このMOTIF XSEディターは、

- Studio Manager
- Studio Connections対応DAWアプリケーション

のプラグインとして利用できます。

ソフトウェアの活用手順

WindowsとMacintoshでは、データの内容やインストール方法が異なります。

以下、各OSに対応した説明をお読みください。

- 1 お使いのコンピューターでMOTIF XSEディターが動作することを確認します。**..... [4ページ](#)
- 2 ドライバーをインストールします。**..... [5ページ](#)
- 3 Studio ManagerとMOTIF XSEディターをインストールします。**..... [6ページ](#)
- 4 Studio Managerを起動してから、MOTIF XSEディターを起動します。**..... [8ページ](#)

これ以降の操作については、各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューから、PDFマニュアルをご参照ください。

ソフトウェアの動作環境

Windows

OS	Windows Vista/Windows XP Home Edition/XP Professional
対応コンピューター	Intel Pentiumのプロセッサ 1.4GHz以上を搭載したコンピューター
メモリー	512MB以上
ハードディスク	200MB以上の空き容量
ディスプレイ	1,024 x 768ドット以上、High Color (16 bit)以上
その他	USB-MIDI Driver (Windows Vista用) バージョン3.0.2以上 USB-MIDI Driver (Windows XP/2000用) バージョン2.2.0以上 Studio Manager バージョン2.1.7以上 Cubase SX 3.1、Cubase 4、またはCubase AI 4

Macintosh

OS	Mac OS X 10.4以上
対応コンピューター	Power PC G4 1GHz以上/Intel製CPU
メモリー	512MB以上
ハードディスク	200MB以上の空き容量
ディスプレイ	1,024 × 768ドット以上、High Color (16bit)以上
その他	USB-MIDI Driver (Mac OS X用) バージョン1.1.0以上 Studio Manager バージョン2.2.0以上 Cubase 4 または Cubase AI 4

NOTE 上記の動作環境は、MOTIF XSEディッターバージョン1.1.0に対するものです。各ソフトウェアの最新バージョン、および動作環境については、下記URLに最新情報が掲載されています。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

お使いのコンピューターによっては、動作環境以上の条件を必要とする場合があります。

MOTIF XSEディッターをDAWソフトウェアのプラグインとしてご使用になる場合は、DAWソフトウェアの動作環境もあわせてご確認ください。

ソフトウェアのインストール

MOTIF XSエディターを使用するためには、以下のソフトウェアをインストールする必要があります。以下のインストール手順に従って、必要なソフトウェアをインストールしてください。

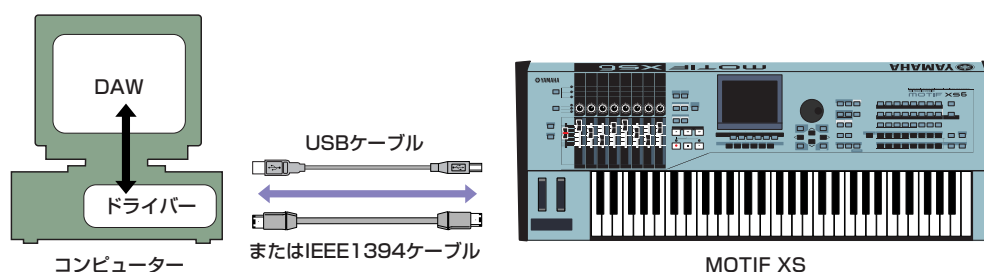
- USB-MIDIドライバーまたはAI Driver
- Studio Manager
- MOTIF XSエディター

USB-MIDIドライバーまたはAI Driverのインストール

USBケーブルまたはIEEE1394ケーブルを使ってMOTIF XS6/7/8をコンピュータに接続する場合は、コンピュータにUSB-MIDIドライバーまたはAI Driverを正しくインストールする必要があります。

USB-MIDIドライバーは、コンピュータ上のDAWなどとMOTIF XS6/7/8との間で、USBケーブルを通じてMIDI信号を送受信するために必要なソフトウェアです。

AI Driverは、コンピュータ上のDAWなどとMOTIF XS8またはmLAN16E2を装着したMOTIF XS6/7との間で、IEEE1394ケーブルを通じてオーディオ/MIDI信号を送受信するために必要なソフトウェアです。



USB-MIDIドライバーのインストールおよび最新情報については、下記URLをご確認ください。

http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/

AI Driverのインストールおよび最新情報については、下記URLをご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>

NOTE MOTIF XSエディターはMIDIケーブルを使った接続はサポートしません。

Studio Managerのインストール

Studio Managerは、ヤマハのハードウェア製品をリモートコントロールする複数のエディターソフトウェアを起動させたり、複数のエディター設定を保存したりする共通のプラットフォームです。

操作については、Studio Managerや各エディターの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

最新のStudio Managerは、以下のURLからダウンロードできます。MacintoshでMOTIF XSエディターをお使いいただく場合は、Studio Managerバージョン2.2.0以上を以下のURLからダウンロードしてください。インストール手順は、ダウンロードしたソフトウェアに付属のインストールガイドをご参照ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>

MOTIF XSエディターのインストール

以下の手順で、MOTIF XSエディターをインストールできます。

[Windowsの場合]

- 1 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「setup.exe」をダブルクリックします。
MOTIF XSエディターのセットアップダイアログが表示されます。
- 2 画面の指示に従ってインストールを実行します。

[Macintoshの場合]

- 1 ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「install MOTIF XS Editor.mpkg」をダブルクリックします。
MOTIF XSエディターのセットアップダイアログが表示されます。
- 2 画面の指示に従ってインストールを実行します。

MOTIF XSエディターとその他必要なソフトウェアのインストールが完了すると、MOTIF XSエディターを起動できます。MOTIF XSエディターは必ずStudio Managerから起動させます。Studio Managerについて、またその起動と設定については「基本操作とセットアップ」([7ページ](#))をご覧ください。

Windowsソフトウェアのアンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法で、WindowsにインストールしたMOTIF XSエディターやStudio Managerを削除できます。

[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] → [プログラムの変更と削除]で、削除したい項目を選択し、[変更と削除]をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

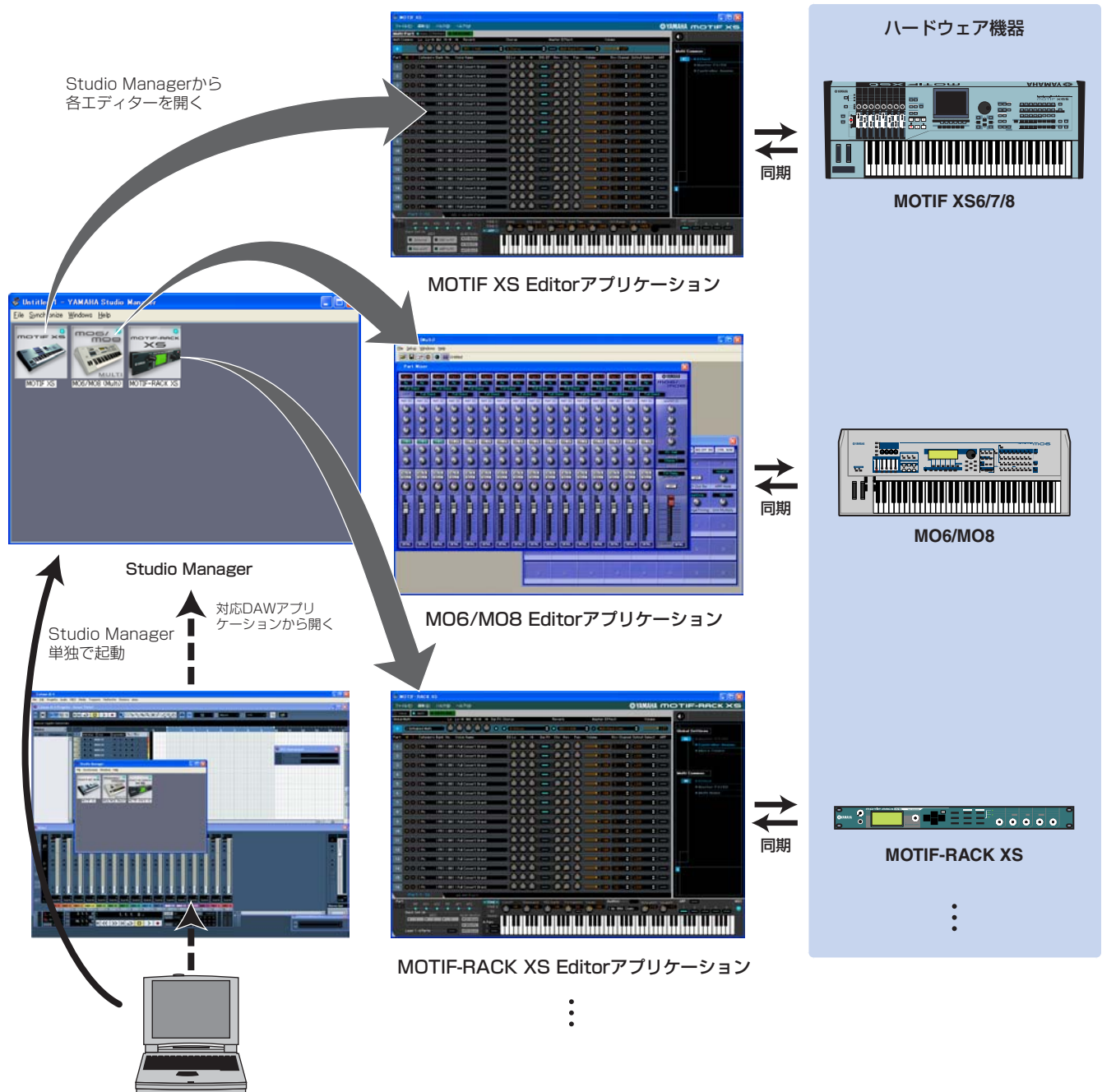
NOTE ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

Studio Manager、Recall (リコール)とは？

Studio Managerは、ヤマハのハードウェア製品をリモートコントロールする複数のエディターソフトウェアを起動させたり、複数のエディター設定を保存したりする共通のプラットフォームです。

Studio Managerは、単独のアプリケーションとして起動したり、Cubase SX 3以降などのStudio Connections対応DAWでプラグインとして使用したりできます。どちらの方法でも、基本的な機能は同じです。対応DAWについての最新情報は、ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.studioconnections.org/jp/>



各エディターの設定は、Studio ManagerまたはDAWでまとめて保存/呼び出しできます。すなわち、複数の機器的設定をStudio ManagerまたはDAWからまとめて呼び出す(リコール)ことにより、システム全体の設定を簡単な操作で変更できます。この機能をリコールと呼びます。

また、設定ファイルを保存する場合、Studio Managerから操作すれば複数の機器をまとめてリコール、各エディターで操作すればその機器だけをリコール、と使い分けることもできます。DAWで設定を保存すれば、DAWのファイルの中にStudio Managerの設定もまとめて保存し、リコールすることもできます。

Studio Managerの起動と設定

Studio ManagerでMOTIF XSエディターを使用するためには、以下のセットアップが必要です。

1 Studio Managerを起動します。

● Studio Connections対応DAWから起動する場合

お使いのDAWの取扱説明書をご参照ください。

以下は、Cubase 4の場合の例です。

Cubase 4の[デバイス]メニューから[スタジオマネージャ]を選択して、Studio Managerウィンドウを開きます。

● Studio Managerを単独で起動する場合

Windows

[スタート]ボタンをクリックした後、[プログラム(すべてのプログラム)] → [YAMAHA Studio Manager]の順にマウスカーソルを合わせ、[Studio Manager]をクリックします。

Mac OS X

[アプリケーション] → [YAMAHA] → [Studio Manager] の順にフォルダーを開き、「SM2」をダブルクリックします。

2 Studio Managerウィンドウ内のWorkspaceにMOTIF XSエディターのアイコンが表示されていない場合は、Studio ManagerのWorkspaceにMOTIF XSエディターを追加します。

[File]メニュー→[Setup]→「Modify Workspace」(Macの場合は、[SM2]→[Preference]→「Modify Workspace」)を開き、「Add Device」の「Device Editor」から「MOTIF XS」を選択し、[Add ->]をクリックします。「Add Device」の「Workspace」に「MOTIF XS」が追加されていることを確認し、[ok]をクリックします。

NOTE MOTIF XSエディターインストール時に、「Studio ManagerのWorkspaceに追加する」のチェックボックスにチェックを入れたままインストールした場合は、Studio Managerを起動すると、すでにMOTIF XSエディターがメインウィンドウ内に追加されています。

3 MIDIポートを設定します。

● Studio Connections対応DAWから起動する場合

お使いのDAW上でMIDIポートを設定してください。詳しくはお使いのDAWの取扱説明書をご覧ください。

NOTE Cubase 4の場合は、ポートの設定が自動的に行なわれます。ただし、IEEE1394ケーブルで接続した場合は、あらかじめExtensions for Steinberg DAWをインストールしておく必要があります。Extensions for Steinberg DAWは以下のURLからダウンロードしてお使いください。
<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/dl/>

● Studio Managerを単独で起動する場合

以下の操作手順でMIDI Ports画面を表示し、Studio ManagerのMIDIポートを設定します。

[File] → [Setup] → [MIDI Ports]/[MIDI Settings] (Macの場合は、[SM2]→[Preference]→[MIDI Ports]/[MIDI Settings])

USBケーブルによる接続の場合: Input Ports (入力ポート)/Output Ports (出力ポート)のどちらも、MOTIF XSのポート1と4の両方にチェックを入れます。

IEEE1394ケーブルによる接続の場合: Input Ports (入力ポート)/Output Ports (出力ポート)のどちらも、mLANのポート1(「mLAN MIDI In」 / 「mLAN MIDI Out」)にチェックを入れます。

4 MOTIF XSEディターを起動します。

Studio Managerウィンドウ内でMOTIF XSEディターのアイコンをダブルクリックしてください。



Studio Managerウィンドウ

5 MOTIF XSEディターのセットアップを行ないます。

操作については、MOTIF XSEディターの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

6 MOTIF XSEディターと機器を同期させます。

操作については、MOTIF XSEディターの[ヘルプ]メニューからPDFマニュアルをご参照ください。

Audio Integration (オーディオインテグレーション)

MOTIF XSEディターはAudio Integrationに対応しているため、Studio Connections対応DAWをお使いの場合、DAWにプラグインされたソフトウェアシンセサイザーと同じようにエディターを起動させることもできます。Audio Integrationの詳細は、ウェブサイトをご参照ください。

<http://www.studioconnections.org/jp/>

トラブルシューティング(困ったときは)

インストール後にMOTIF XSエディターを起動し、USBケーブル/IEEE1394ケーブル経由でMOTIF XSエディターからMOTIF XS6/7/8を操作した場合、正常に動作しない

- USB-MIDIドライバーまたはAI Driverは最新のをインストールしましたか？ [5ページ](#)
- コンピューターとMOTIF XS6/7/8を接続しているUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルは、正しく接続されていますか？ MOTIF XS6/7/8取扱説明書
- USBケーブルでコンピューターと接続している間に、コンピューターの省電力モード(スタンバイ、スリープ、休止モードなど)に入ると、コンピューターがハングアップしたり、ドライバーの機能が停止する場合があります。USBドライバーを使う場合は、コンピューターの省電力モードをオフにしてください。
- IEEE1394ケーブルでコンピューターと接続している間に、コンピューターの省電力モード(スタンバイ、スリープ、休止モードなど)に入ると、コンピューターがハングアップしたり、ドライバーの機能が停止する場合があります。AI Driverを使う場合は、コンピューターの省電力モードをオフにしてください。
- 正常なケーブルを使っていますか？
ケーブルが断線などで劣化している場合は、正常なケーブルに交換してください。
- 接続にはハブなどを使用しないでください。

描画がもたつく

- お使いのコンピューターは動作環境を満たしていますか？ [4ページ](#)
- 他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？
MOTIF XSエディターの動作に必要なではないアプリケーションやデバイスドライバーは終了してください。